



## 2024年度へ出発！ 第29回定期総会を開催

### 新会長・松田氏、新理事長に横山氏

6月23日、町下会館にて、第29回定期総会が開催されました。初めに中山耕一会長より、この1年の活動に感謝の言葉があり、続いて来賓の若生裕俊市長、金子透市議会議長、北野澤泰富谷ユネスコ協会副会長、佐々木謙宮城県日中友好協会会長から祝辞がありました。なかでも北野澤氏は“富谷ユネスコの団体会員として平和へ向けての活動に期待している”との話がありました。



総会の審議では、2023年度の活動報告並びに決算報告及び監査報告、2024年度の活動計画案並びに予算案、規約の一部改正案並びに役員人事案が審議され、可決されました。

役員人事において、中山耕一会長、水戸雄二理事長は顧問に退き、新会長に松田勝幸(写真④)氏、新理事長に横山弥生氏、副会長に水戸憲子氏、理事に河野美和子氏が加わりました。また事務局長には安住稔幸氏が就き、新体制で今後の富谷市日中の諸活動を行うこととなりました。



また総会后、懇親会ももたれ、近況報告や今後の活動への提案なども話し合われました。

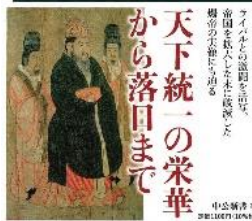
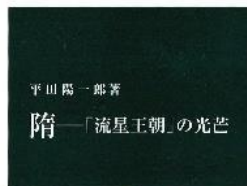
### 『隋 流星王朝』の光芒 平田陽一郎著

中公新書 1,100円

581年、長期の分裂と抗争に終止符を打ったとはいえ、実質、建国から40年、2代で滅びた隋。中国の歴史学会では隋を“流星王朝”と評するようだ。

私たちには遣隋使・倭国との関係や高句麗遠征、大運河、長城の修復等で印象深いですが、本書はその歴史や魅力の詳細に迫る。

世界帝国の理想を抱き、そして破滅した第2代・煬帝を中華最大の暴君として片づけることなく、エピソードも通して、その歴史と意図を掘り下げていて興味深い。学術書的なので難しいが、中国、朝鮮半島そして日本の古代史を学び直すのはいかがでしょうか。最終章では煬帝の処刑の場面も描かれているが、こうした光芒を人類は幾度となく見てきたといえよう。(M)



### ☆県女性委員会が総会を行う☆ 若生富谷市長が講演

県女性委員会(水戸憲子委員長)の2024年度総会が6月25日、仙台市・国際センター多文化研修室で行われ、富谷市日中からも6名が参加しました。

第1部では「女性の活躍する街づくりとこれからの国際交流」のテーマで富谷市・若生裕俊市長から講演がありました。若生市長は、富谷400年の歴史や新たな産業なども紹介しつつ、青年、女性の起業やボランティアの活躍の場を増やし“住み良い街づくり”の実績を紹介。また多文化共生と国際交流に富谷市日中の25年間にわたる中国語講座や地域行事に参加しての中国文化の紹介や中国人や留学生との交流活動を高く評価し、期待を寄せました。(写真中央が若生市長)

